

会議の名称	令和3年度第1回久米川駅南口駅前広場検討会議
開催日時	令和3年10月29日(金) 10:00~11:40
開催場所	栄町ふれあいセンター 集会室1・2
出席者	出席者： (委員) 栄町町会、久米川中央銀座会、久米川商店会、 久米川駅南口共栄会、東村山市商工会、東村山市社会福祉協議会、 久米川阿波踊り実行委員会、のみむらマイスター認定協会 13人 (事務局) 渡部市長、山下まちづくり部長(都市計画担当) まちづくり推進課：井上課長、吉川課長補佐、篠崎 (コンサル) 日本交通計画協会 近藤氏・村本氏・村上氏
会議次第	1.開会 2.出席者紹介 3.検討会議設置要領説明 4.座長、副座長選出 5.議事 1)検討会議の進め方 2)駅前広場の現状・課題 3)アンケート協力をお願い 6.その他 7.閉会
問合せ先	まちづくり部まちづくり推進課 担当者名 吉川、篠崎 電話：042(393)5111(内線3701) FAX：042(393)6846
会 議 経 過	
■配付資料 ①議事次第 ②久米川駅南口駅前広場検討会議名簿 ③久米川駅南口駅前広場検討会議設置要領 ④説明資料(スライド)	

1. 開会

1)事務局より本日の会議内容・進行の説明

2)渡部市長より挨拶

2. 出席者紹介

3. 事務局より検討会議設置要領説明

4. 座長・副座長選出

互選にて、座長、副座長を選出。

5. 議事

1) 検討会議の進め方

2) 駅前広場の現状・課題

3) アンケート協力をお願い

議事の各項目について事務局からスライドを用いて説明を行った。

その後、1)、2)、3)の内容について意見交換を行った。主な内容は以下の通り。

Q. いつ頃に再整備するのか。

A. 来年度末までの2年間で、委員の皆さまと一緒に再整備の方向性を決めたいと考えている。その後、方向性を踏まえて具体的な設計をしていく。並行して、今後の駅前広場の使い方についても検討したい。

Q. 北口駅前広場について、再整備をした効果の検証として、南口と同じような調査を行う予定または計画はあるか。

A. 北口の使われ方の面では、まちづくり研究会が中心となってイベントなどに取り組んでいる。現時点ではアンケート調査を実施する予定はない。

Q. 北口と南口の駐輪場の台数を知りたい。

A. 北口は約1,600台、南口は約600台の収容台数がある。北口の地下駐輪場は定期利用が1,000台程度あり、新宿方面へ行く方が多いので、駅南口側から踏切を渡って地下に駐輪する利用方法が多い印象である。一方で南口は買い物などの日常的な利用でよく使われているという印象がある。また、今年度から指定管理者が駐輪場収入を活用して駐輪場のサービス改善に還元していく取り組みを進めている。駅からの距離や、立体駐輪場の階数で料金に差をつけながらサービス改善を図っていこうと考えている。

Q. 駐輪場は多くあるが、目的地の近くに停める人が多い。買い物する範囲の徒歩1~2分のところのない限り、駐輪違反はなくならず、近場に200~300台が停まれるくらいの駐輪場

を考えないといけない。

A. 駐輪場については、交通施策の担当部署で検討しており、様々な面から考えていきたい。

(委員意見)

・今は北口と南口が分断されているような印象がある。北口と南口が一緒になってイベントを行ってみたい。近くに住んでいる方にどちらも魅力的と言ってもらえるような、久米川地域全体が盛り上がることができると良いと思う。

・今の駅前広場は約 46 年前にデザインされたもので現状にそぐわなくなっている。駅前広場のスペースのとり方のデザインはいくつかのパターンがあると思う。そこに我々の意見をどう盛り込めるか。形や想い、これからのイベント的なものも含めて、皆さんの意見をデザインに取り入れていけると良いと思う。

・久米川駅に来てもらう人にはできるだけ久米川に住みたいと感じてもらいたい。その時にけやきがある場所が来た方の第一印象になる。柵がなくなってしまうと、溜まっていた人たちがゴミを散らかす等、元に戻ってしまうのではないか。柵を取り外す時には、何か対応を考えていただきたい。広場自体は、住んでいる人たちのコミュニティの場や、また違う形で活用できるようになれば良いと思っている。

・次回会議に、我々のヒントになる北口駅前広場に関する資料があればご提示をお願いしたい。

6.その他

事務局より議事録のとりまとめ、次回開催日程、WEB アンケートの実施について連絡した。

7.挨拶

山下部長より閉会の挨拶をした。

以上

